

地域別最低賃金額のランクごとの変動係数の推移

1 各ランクごとの変動係数

- 昭和53～平成6年
 - ・すべてのランクで変動係数(ばらつき)は縮小傾向。
- 平成7～11年、12～13年
 - ・Aランクは横ばい、B、C、Dランクは縮小。
- 平成14～16年、17～20年
 - ・Aランク、Bランクは拡大、Cランク、Dランクは縮小。

2 各ランク平均の変動係数

- ・各ランク平均の変動係数(ばらつき)は、縮小傾向であったが、平成19、20年において拡大。

年度 ランク	日額																						時間額								
	昭和 53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	平成 元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
Aランク	0.13	0.13	0.13	0.70	0.68	0.66	0.66	0.65	0.64	0.75	0.90	1.08	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.29	0.31	0.35	1.88	1.83	1.78	2.36
Bランク	0.94	1.19	1.19	0.87	0.84	0.82	0.80	0.77	0.75	0.73	0.71	0.68	0.63	0.61	0.60	0.58	0.57	2.25	2.17	2.11	2.06	2.03	2.22	2.19	2.20	2.20	2.22	2.10	2.07	2.03	2.30
Cランク	1.16	1.19	1.05	0.97	0.93	0.88	0.87	0.85	0.83	0.86	0.92	1.03	0.59	0.57	0.54	0.53	0.51	2.13	2.08	2.02	1.97	1.95	2.35	2.26	2.23	2.21	2.19	2.02	1.99	1.92	1.82
Dランク	1.27	1.19	1.12	1.04	0.98	0.95	0.92	0.89	0.87	0.85	0.82	0.79	0.75	0.72	0.69	0.68	0.66	0.52	0.50	0.48	0.46	0.45	0.45	0.44	0.42	0.40	0.39	0.39	0.36	0.30	0.22
ランク間 (※)	5.79	5.68	5.68	5.48	5.45	5.44	5.42	5.41	5.40	5.37	5.33	5.27	5.46	5.45	5.43	5.42	5.41	5.31	5.30	5.28	5.27	5.26	5.26	5.26	5.50	5.51	5.52	5.04	5.15	5.70	6.26

(※)各ランクごとに単純平均を求めそれらの数値の変動係数を計算した。

変動係数

- 変動係数とはデータの散らばり具合をあらわす指標で、それぞれのデータから平均値を引いたものを自乗し全て足しあわせてデータの個数で割ったものの平方根（標準偏差）をデータの平均値で割ったもの。

- 式であらわすと、

$$\frac{\sqrt{\sum_{i=1}^N (X_i - \bar{X})^2 / N}}{\bar{X}}$$

となる。（Nはデータの個数、 \bar{x} はデータの平均値。）

（例）データ（10, 20, 35, 45, 50）が与えられたとき、

$$\bar{X} = (10 + 20 + 35 + 45 + 50) / 5 = 32$$

$$\frac{\sqrt{\{(10-32)^2 + (20-32)^2 + (35-32)^2 + (45-32)^2 + (50-32)^2\} / 5}}{32} = 0.47$$

となり、このデータの変動係数は0.47となる。